

2024年6月17日
株式会社チェンジ

**チェンジ、地域課題を通じて「本当の課題解決力」を鍛える
実践型プログラム「Logic+」（ロジックプラス）を提供開始
～ リアルな社会課題を教材にすることで企業の課題解決力の向上を支援 ～**

株式会社チェンジ（本社：東京都港区 代表取締役兼執行役員社長：野田 知寛、以下：チェンジ）は6月17日、ロジックだけでは解決できない課題解決を実践するため、実践型プログラム「Logic+」（ロジック+）を提供開始したことを、お知らせいたします。

多くの企業において、課題発見の手法やロジカルに解決策を導出する手法を学ぶことが多い中、現実の課題解決を進めていくと机上で学ぶロジカルな手法だけで課題を解決することは難しく、それらの手法を有効に活かすことができない場面が多くあります。本プログラムでは、ロジックに加えて"real"、"human"、"emotion"の3つの要素を取り組むことで実践的なコミュニケーションを通じた体験から課題解決手法を学びます。

本プログラムでは、課題の構造やステークホルダーの複雑さをリアルに経験できる「地域課題」をベースに、地域に対するフィールドワークやヒアリングから、ステークホルダーに解決策をプレゼンテーションで訴求するところまでを実践します。さらに、ロジックだけでは推進できない課題解決に何が求められるのかを実践形式で学ぶことで、リアルな課題の解決力を身に付けます。

具体的なプログラム内容は、まず事前学習として、地域課題解決の考え方を「システム思考」と「デザイン思考」を用いた思考力の研修を行い、加えて地域課題を抱える当事者である現地の方々へのヒアリングやプレゼンテーションにおける考え方を学びます。また、事前にテーマとなる地域課題と地域特性や定量データのインプトを受けることで、概要をつかみ仮説を持って現地に向かう準備をします。

その後、現地で3-5日間滞在し、フィールドワークを行います。地域課題に関わる住人や市民団体、自治体など、多様な方々にヒアリングをしながら、チームで解決策を検討します。最終日には、地域課題に関わる方々にチームで考えた解決策を提案します。提案内容や関わり方について、フィードバックを受け、最後は自身の仕事において活用できる考え方を整理する振り返りを行います。

本プログラムは、次世代リーダーの候補者から現役管理職者まで、課題解決を自ら推進していく必要がある方々を対象にしたプログラムになっており、企業の選抜者研修や管理職研修としての位置づけとして取り組むことが可能です。

チェンジは、国内の少子高齢化社会における課題を解決するため、「Change People, Change Business, Change Japan.」のミッションのもと様々な事業を展開していますが、本プログラムを通じて、地域におけるリアルな課題を教材にして「現地・現物・現実」を体験することで、企業の課題解決力の向上を支援します。

▼サービス紹介ページ

<https://www.change-jp.com/service/logicplus>

▼資料 DL ページ

<https://www.change-jp.com/download/dl-039>

■会社概要

【株式会社チェンジ】

株式会社チェンジは、チェンジグループにおいて、人（人材育成）と技術（New-IT）により、あらゆる組織のビジネス/業務に革新をもたらす企業です。「Change People、Change Business、Change Japan」をミッションに掲げ、「生産性を CHANGE する」というビジョンのもと、人材の育成支援と業務プロセスの革新及びデジタル化を担う NEW-IT トランスフォーメーション事業を推進しています。

会社概要は <https://www.change-jp.com/>をご覧ください。

本件のサービスに関する問い合わせ先
株式会社チェンジ
マーケティングチーム 担当：込戸・中桐
Email : lxinfo@change-jp.com

本件の取材に関する問い合わせ先
株式会社チェンジ
広報担当：宗形
Email: shin_munakata@change-jp.com